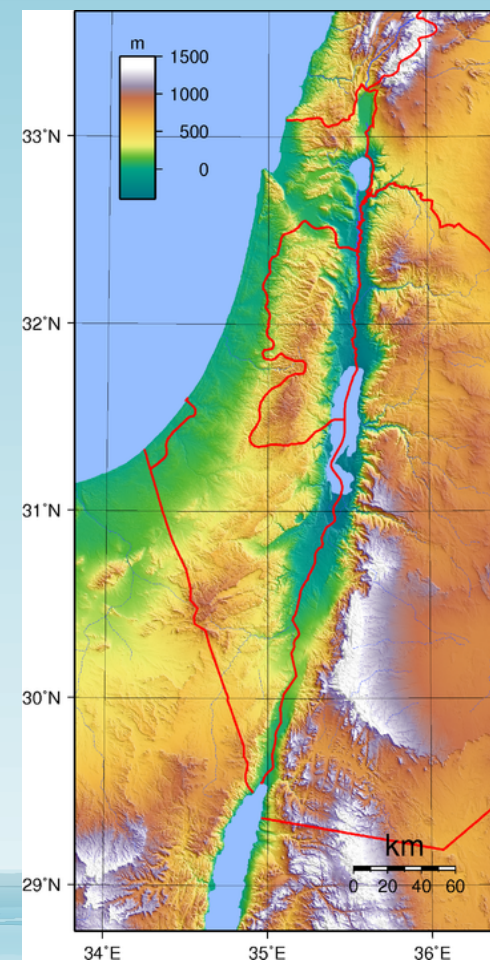


# パレスチナとは？



恵比寿マンディ

2020年8月3日



アリエル・ミニストリーズ

アーノルド・フルクテンバウム博士

## 1. 約束の地がパレスチナと呼ばれるようになった歴史的経緯

- (1) 紀元6年 ローマ帝国の支配下で ユダヤ属州として ユダヤ総督が置かれる。
- (2) 70年 エルサレムの神殿崩壊⇒ 世界離散⇒ガリラヤ地方にユダヤ人共同体
- (3) 132～135年 バル・コクバの乱(ローマ帝国に対するユダヤ人の反乱)

反乱鎮圧後 ローマ帝国のハドリアヌス帝は この地からユダヤ性を排除。

- ① 首都 エルサレムを「アエリア・カピトリーナ」に改名。
- ② 地域 ユダヤを「パレスチナ」に改名。——古代ペリシテ人の地 ペリシテ にちなんでの改名

# ペリシテ人 紀元前12～11世紀 士師記、サムエル記 に記録されているイスラエルの敵。

元々は、エーゲ海地方出身のギリシャ系の民。エジプト征服を試みたが、失敗してエジプトの地をあきらめ、この地の地中海沿岸地域南部に定住。

## 2.1967年 六日戦争以前

ユダヤ人は自分たちを「パレスチナ人」、約束の地を「パレスチナ」と呼んでいた。

- (1) バビロニア・タルムードは、この地を「パレスチナ」と記す。
- (2) 現在の「エルサレム・ポスト」(新聞)は、1948年までは「パレスチナ・ポスト」であった。
- (3) ベン・グリオン首相が 1948年イスラエルの独立宣言をした時、ユダヤ人にとって肯定的な意味で「パレスチナ」という言葉を6回使用した。



### 3.1967年 六日戦争以降

(1) この地のアラブ人が 自分たちのことを「パレスチナ人」と呼ぶようになった。

① 徐々に 報道機関が この意味で使用。

② 現在パレスチナ人といえば、この地のアラブ人を意味するように変化し、ユダヤ人を意味することがなくなった。

③ 申命記29～30章の契約は、従来「パレスチナ契約」と呼ばれていたが、1967年以降、混乱を避けるため「土地の契約」に変更。

# 現在、パレスチナ人と呼ばれる人々の民族的ルーツ：

636～1099年 アラブ征服時代7世紀に、アラブ人がこの地を征服し定住。

その末裔なので、ギリシャ系の古代ペリシテ人とは民族的繋がりのないアラブ民族である。

## (2) 現在

イスラエルで、パレスチナ人と言えば、アラブ系住民のことを指し、ユダヤ人が自らを、パレスチナ人と称することはなくなった。親イスラエルの書籍で「パレスチナ人」という言葉が出てきたら、出版年を確認、1967年以前のものであれば、「ユダヤ人」という意味である。

## まとめ

### 1. 紀元2世紀に、ユダヤからパレスチナへ変更

紀元2世紀～1967年六日戦争において、パレスチナ人とはユダヤ人を指す。

シオニズム運動は パレスチナの地に祖国再建を目指した。

### 2. 1967年 六日戦争以降

パレスチナ人とは、この地のアラブ人を指す。